

IgG4 関連涙腺・唾液腺炎の診断における超音波検査の有用性

研究分担者：中村 誠司、九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座、教授

研究要旨：本研究では、侵襲性の低い顎下腺の超音波検査および口唇腺生検を施行し、IgG4 関連涙腺・唾液腺炎（IgG4-DS）の診断における有用性について検討を行った。その結果、超音波検査は口唇腺生検と比較して感度・特異度が高く、特に感度は 100%であった。以上より、超音波検査は IgG4-DS の診断に有用であり、被曝もないことから診断基準にも応用できる可能性が示唆された。

共同研究者

前原 隆 （九州大学大学院歯学研究院）
石黒 乃理子（九州大学大学院歯学研究院）
坂本 瑞樹 （九州大学大学院歯学研究院）

A. 研究目的

IgG4 関連涙腺・唾液腺炎（IgG4-DS）の確定診断には悪性腫瘍や類似疾患を除外するために、病変局所からの組織生検が推奨されている。大唾液腺が罹患している場合、腫瘍との鑑別も考慮して全摘出されることも多く、唾液分泌機能の低下や顔面神経障害などの合併症が生じることがある。そこで本研究では、侵襲性の少ない唾液腺検査（超音波検査および口唇腺生検）における IgG4-DS の診断能について検討を行い、現行の診断基準への適応について検証を行った。

B. 研究方法

口唇腺生検および超音波検査（腫脹部位）を施行した 68 例を対象とし、超音波検査は「血流豊富な結節状の低エコー、もしくは深部にしたがって正常像に移行する網状の低エコー」を認めた場合を陽性とした。

（倫理面への配慮）

本研究は生体材料を使用するため、主治医

が説明文書を使用して患者に説明し、患者及び家族から書面で同意書を得る。解析結果の論文などでの公表に際しては、患者の個人を識別できる情報は公表しない。個人情報保護のため、検体は符号により匿名化し、符号を結びつける対応表および個人情報は実験責任者が厳重に保管する。

C. 研究結果

最終診断は、IgG4-DS が 31 例、シェーグレン症候群が 28 例、IgG4-DS 以外の IgG4 関連疾患が 5 例、悪性リンパ腫が 4 例であった。口唇腺生検と超音波検査の感度・特異度・正診率は、それぞれ 64.5%, 73.8%, 75.0%と 89.3%・100%, 83.8%, 91.2%であり、超音波検査は口唇腺生検より診断能が高かった。さらに口唇腺生検と超音波検査に血清 IgG4 値（> 135 mg/dl）の結果も組み合わせると、その診断能は、それぞれ 64.5%, 91.9%, 79.4%と 100%, 94.6%, 97.1%であった。

D. 考察

これらの結果より、IgG4-DS の診断における非侵襲性の超音波検査は極めて有用であり、現行の診断基準の診断項目としても十分に適応できることが示唆された。

森山雅文、中村誠司. ミニレクチャー 22
「IgG4 関連疾患を正確に診断するに
は?～ 唾液腺生検の工夫と画像診断に
ついて～」. 第 63 回(公社)日本口腔
外科学会総会・学術大会、幕張、2018.11.4

E. 結論

IgG4-DS の診断基準の改訂に向けて、今後は多施設でも検討を行う予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

Sakamoto M, Moriyama M, Shimizu M, Chinju A, Mochizuki K, Munemura R, Ohyama K, Maehara T, Ogata K, Ohta M, Yamauchi M, Ishiguro N, Matsumura M, Ohyama Y, Kiyoshima T, Nakamura S. The diagnostic utility of submandibular gland sonography and labial salivary gland biopsy in IgG4-related dacryoadenitis and sialadenitis: its potential application to the diagnostic criteria. *Mod Rheumatol*, 2019 in press.

森山雅文、中村誠司 「日本医事新報 No. 4939」 特集 唾液腺・涙腺病変からみた IgG4 関連疾患の進歩 3. IgG4 関連疾患の病態形成機序 -涙腺・唾液腺より、44-48 頁、日本医事新報、2018

森山雅文、中村誠司 「口腔外科のレベルアップ&ヒント」片倉 朗 編:第 9 章 唾液腺疾患 02. IgG4 関連疾患、192-195 頁、デンタルダイヤモンド社、2019

2. 学会発表

森山雅文、清水真弓、坂本瑞樹、鎮守 晃、望月敬太、宗村龍祐、前原隆、山内昌樹、石黒乃理子、中村誠司. シンポジウム 3 「IgG4 関連涙腺・唾液腺炎(ミクリッツ病)の病態と診断」. 第 27 回 日本シェーグレン症候群学会、福岡、2018.9.15.

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし